



ふじみまち通信

町内の活動や情報、イベントなどを
ご紹介します。

富士見町無料職業紹介所だより

問 産業課 商工観光係 ☎62-9342

新規募集企業一覧 (7月1日~7月31日受付分)

登録No.	業務の内容	賃金	勤務時間	事業所名
44	給食調理業務	①月給 126,000円~ ②時給 960円	①午前8時~ 午後4時45分 または 午前7時45分~ 午後4時30分 ②午前8時~正午 または 午前7時45分~ 午後1時30分	茅野市総合 サービス(株) (町内保育園 小中学校)
65	アルパカ牧場内 売店でのレジ、 接客、飲食提供他	時給 850円~	午前10時~午後4時	(株)富士見ファーム 青少年育成センター (八ヶ岳アルパカ牧場)

※「紹介状」を発行しますので、まずは紹介所へご連絡ください。

富士見町では、事業所から求人情報の受付を行い、順次、職業紹介所で紹介・あっせんしています。

上記以外にも多くの求人募集が出ています。詳細等は、特設ホームページまたは産業課 商工観光係(2階⑫番窓口)でご確認ください。

※すでに求人が終了している場合があります。ご了承ください。

○特設ホームページ

<https://www.town.fujimi.lg.jp/site/jobinformation/?=qr>



考古館長と 縄文の足あと

たずねる

問 井戸尻考古館 ☎64-2044

地震の痕跡

9月は防災月間です。地震や台風、土石流など災害が多い日本ですが、はるか昔から人々は災害と隣り合って生活していたことが、遺跡に刻まれた爪痕から見て取れます。



▲非常に大きな地震が発生したと思われる

この写真は、平成7~8年に発掘調査した机原三本松遺跡(県産業団地)で発見された地山の裂傷、つまり地割れです。ほぼ南北方向に伸び、最大で長さ40m、幅3.8mありました。

この地割れを残した地震は、糸魚川-静岡構造線の断層群に由来するものとみられ、およそ6,300年前と推定されています。

日本各地の遺跡から、地震、土石流、噴火、そして津波も、様々な痕跡が現れます。

私たちはそこから、学ばなくてははいけません。この地で先人たちが、どう生き抜いたのかを。

「食育推進チーム」だより

問 住民福祉課 保健予防係 ☎62-9134

“毎日食べよう! 350gの野菜”



野菜をたくさん食べるポイントは、加熱してカサを減らすことです。野菜本来の味も楽しみながら食べましょう。

野菜のトースターグリル

〈材料〉

- ・お好みの野菜350g
例:玉ねぎ...1/2玉、ナス...1本、しめじ...1/2パック、パプリカ...1/2個、ズッキーニ...1/2本 など
- ・ウインナー...4本
- ・オリーブオイル...大さじ3 ・塩...小さじ1/3



〈作り方〉

1. 一口大に切った野菜とウインナーを、トースター用天板に広げる
2. オリーブオイルと塩を振って、15分~20分焼く
※ 火の通りにくい野菜(ニンジン・ジャガイモ・ごぼう等)は、あらかじめレンジ加熱か下茹でしてください

油と野菜と一緒に食べると、ビタミンの吸収が良くなります。素材の味を楽しみながらいただきます。

(作成:富士見町社会福祉協議会)

こんにちは 地域包括支援センターです

問 地域包括支援センター ☎62-8200

「認知症」への理解と関わり方

これまで「認知症になると何も分からなくなる」と思われてきましたが、認知症となった本人も、異変を感じていることが分かってきました。

例えば、認知症の人はストレスに弱く、周囲の声や生活雑音、光や影など些細なことを強い刺激と感じ、不安や緊張を高め、そこから逃れようとします。また周囲の刺激を避けるため自分の世界に引きこもることや、悔しい気持ちを語る人もいます。

しかし、症状が進んでも「不自由なことに手を貸してほしい」「自分の大事なものを大切にしてほしい」など人としての要望を持っています。また、その瞬間に感じる喜怒哀楽はとても豊かです。「嬉しかった」「怖かった」などの気持ちが残ることもあります。

●無理のない介護を

認知症の方へは「本人の視点に立った支援」が重要ですが、発症前を知る家族の場合、本人の変化に上手く対応できない場合が多いです。



認知症の人の関わりや介護について相談したい方は、地域包括支援センターへご連絡ください。